

平成28年度 大豆栽培こよみ

みな穂農業協同組合
高品質大豆・大粒比率増加・単収300kgどりをめざして!

重点技術対策 石灰質資材の施用と堆肥等有機物の積極的な投入 排水対策の徹底(額縁排水溝の設置と中耕培土の実施) 種子更新と種子消毒の徹底

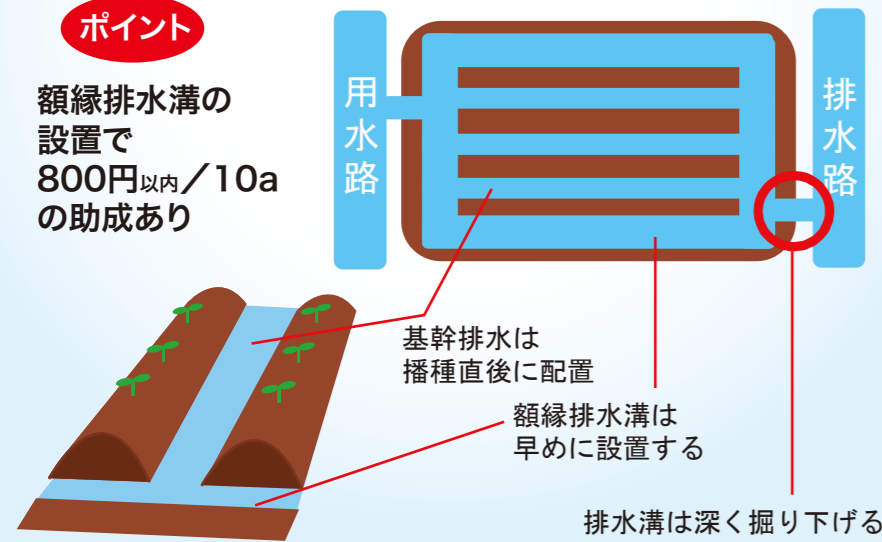
① 大豆は、排水が命!

徹底的な排水対策が、出芽・苗立ちの安定につながります。

- 額縁や基幹排水溝の設置は、排水が徹底出来るように深くしておきましょう。
- 透水性の悪い圃場ではサブソイラなどにより、心土破碎をしましょう。
- 高畝栽培で必ず排水対策をしましょう。
- 平床栽培は、播種時に基幹排水溝を掘り、確実に排水溝に連結しましょう。

ポイント

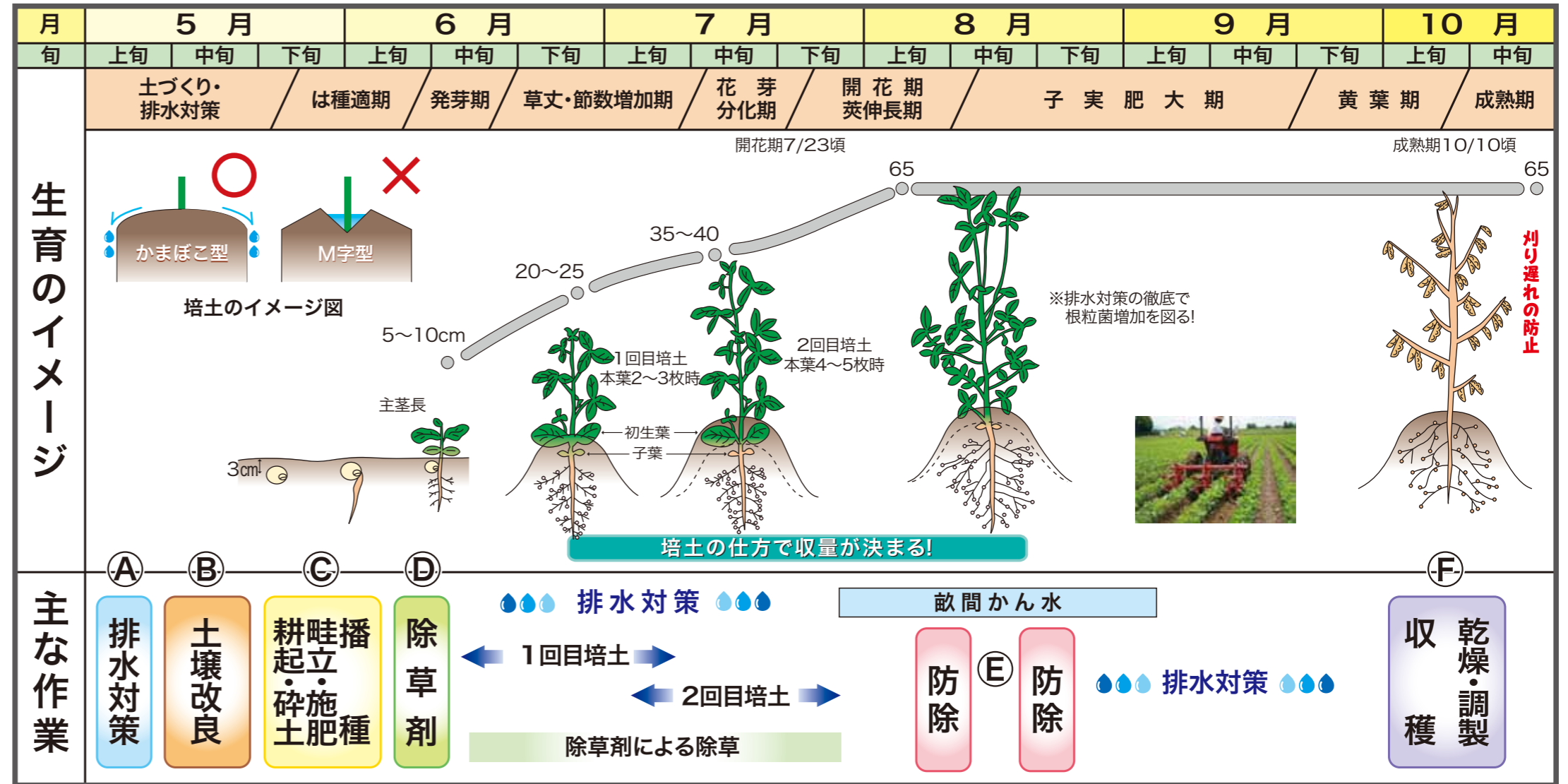
額縁排水溝の設置で
800円以内/10a
の助成あり



② 積極的な土づくり

- 土壌pHの目標値は、6.0~6.5
- 堆肥散布や地力増進作物のすき込みで収量向上、しわ粒発生を少なくしましょう。
- 深さ20cmを目安に深く起こしましょう。

苦土生石灰 … 100kg/10a
発酵ケイフン … 150kg/10a



③ 耕起・施肥・播種

耕起作業の要点

- 作業速度を落とし低速のロータリ回転で行なう
- 作土深20cmの深起し

施肥・播種作業の要点

- 基肥はN成分で3~4kg/10aが目安
基肥資材：みな穂オール14 20~30kg/10a
- 播種深度3cmの徹底 ● 栽植本数の確保

品種	播種時期	栽植密度(本/10a)	播種量(kg/10a)
エンレイ	6月上旬	14,000~16,000	5~6
	6月中旬	16,000~18,000	6~7
シュウレイ	6月上旬	14,000~16,000	5~6
オオツル	6月上旬	10,000~12,000	5~6

④ 除草

時期	品名	10a当りの薬量	10a当りの希釈水量	特記	使用時期	総使用回数
播種後	エコトップP乳剤	500ml	100L	畑地1年生雑草	—	1回
	エコトップP粒剤	4~6kg	—	畑地1年生雑草	—	1回
生育期間中	ナブ乳剤	150~200ml	100~150L	イネ科雑草3~5葉期	収穫2ヶ月前まで	1回
	ポルトフロアブル	200~300ml	100L	イネ科雑草3~8葉期	収穫30日前まで	1回
	大豆バサグラン液剤	100~150ml	100L	畑地1年生雑草	収穫45日前まで	1回
	バスタ液剤	300~500ml	100~150L	畝間・枕地処理	収穫28日前まで	3回以内

⑤ 病虫害防除・種子消毒

時期	農薬名	散布量(10a当たり)	対象病虫害	散布時期(収穫前日数)	総使用回数
種子消毒	クルーザーMAXX	乾燥種子10kg当たり80ml	フタスジヒメハムシ タネバエ ネキリムシ類 紫斑病 茎疫病	播種前	1回
基本防除	スミチオンベルコート粉剤DL	3kg	紫斑病 カメムシ類	8月中旬(21日前)	2回以内
	マネーゼトレボン粉剤DL	4kg	カメムシ類	8月下旬(30日前)	2回以内
随時防除	サイアノックス粉剤	4kg	ウコンノメイガ(ハマキムシ)	開花期(7日前)	2回以内
	Zボルドー	500倍(150~300L)	葉焼病	—	—

時期	農薬名	散布量(10a当たり)	対象病虫害	散布時期
基本(へり)防除	1回目 ベルコートフロアブル	0.8L	紫斑病	8月中旬
	プレバソフロアブル	0.8L	マメシクイガ ハスモンヨトウ	
2回目	アミスタートレボンSE	0.8L	紫斑病 カメムシ類	8月下旬



※ 詳細は防除特報で確認してください。

⑥ 要注意 帰化アサガオ

※ 帰化アサガオを見つけたらすぐに抜き取りましょう!
事前に広がり止めるのが一番の対策です。



⑦ 収穫・乾燥

《適期を逃さず、収穫しましょう!》

- 乾燥は、温度よりも時間をかけて慎重に!
- 仕分けの徹底、腐敗粒の混入防止!
- 作業速度はゆっくりと!
- 収穫前に雑草や青立ち株を取り除いておく!
- 刈取り高は地際から10cmの高さで!



※ 栽培記録簿は、1回目の出荷の際に必ず提出しましょう!!